



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行
市議団ニュース

ご相談は
お気軽に
市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

放射能 表土をはいで30〜40%減 県が汚染の低減化実験

東京電力の福島原発からの放射能汚染で、住民の不安が広がっています。茨城県は、表土をはぐくなどによる除染で放射能の空間線量がどのくらい下



がるか、低減化実験に取り組まれました。対象は本紙前号でもお知らせしたとおり県内2カ所で、8月7日に守谷市で、つづいて12日に北茨城市で作業がおこなわれました。中郷町「子どもの家」（元市立中郷幼稚園）の園庭で、面積は約300坪。原研や県、市の職員約50名が参加しての大海戦術です。まず敷地内の放射線量を細かく測定しました。そして汚染度の高かった周辺部から、スコップやローダーなどで数cm分ずつ表土をはいでいきます。その場で土のう袋に詰め、地表面の線量が下がっていることを確認していき



園庭中心部など線量の低いところでは、地表面をこする程度でもよいとの判断でした。また水路

終戦記念日に街頭から 党市議団が訴え

終戦記念日の8月15日、日本共産党市議団は猛暑のなか、街頭宣伝に立ち、次のように訴えました。

ただ、雨どいの下などで、なかなか線量が下がらないところがあります。子どもたちの手に触れないように遮蔽する必要があるようです。茨城県では、これらの実験結果から除染のためのマニュアルを作り、各自治体に周知するとしています。

今回の作業に立ち会った鈴木やす子市議は、「放射能汚染対策については取組みが後手になっていく。それでも今回、県の主導で試験がおこなわれ、マニュアルをつくることで評価したい。すぐにでも自治体で取り

第3回定例9月議会 ～主な日程～

9月1日(木)	初日(議案提案)
9月7日(水)	一般質問
9月8日(木)	一般質問か休会
9月9日(金)	産業建設委員会
9月12日(月)	文教厚生委員会
9月13日(火)	総務委員会
9月14日(水)	決算委員会
9月15日(木)	決算委員会
9月20日(火)	最終日(議案採決)

※ ご要望・ご意見をお寄せください。
※ 一般質問の傍聴は自由です。ぜひお越しください。

「今年の終戦記念日を私たちは、東日本大震災と原発事故という、これまで経験したことのない事態の中で迎えています。北茨城市も地震と津波によって大きな被害を被りました。さらに、原発からの放射能汚染は、本市の農業・漁業・観光などにも大変な影響を及ぼし、市民の命と健康、とくに子どもたちへの影響と不安を大きく広げています。

私たちは、災害に正しい街づくりを推進すると同時に、今回明らかになったように、一度事故が起きたら人間の手では制御できない原発はただちに停止することが必要と考

組めるようにすることが必要だし、経費についても責任を持つてほしい。さらに、個人宅でも条件によって敷地内で放射線量が高いところがある。その除染の手引きも作成し、早く周知してほしい」と語っています。

未曾有の大震災・原発事故に遭遇して、人間の連帯、絆が深まっています。かならず大震災から日本は復興すると信じています。日本共産党はそのために、これまで以上にみなさんと力を合わせ

私たちは、災害に正しい街づくりを推進すると同時に、今回明らかになったように、一度事故が起きたら人間の手では制御できない原発はただちに停止することが必要と考

「今年、終戦記念日を私たちは、東日本大震災と原発事故という、これまで経験したことのない事態の中で迎えています。北茨城市も地震と津波によって大きな被害を被りました。さらに、原発からの放射能汚染は、本市の農業・漁業・観光などにも大変な影響を及ぼし、市民の命と健康、とくに子どもたちへの影響と不安を大きく広げています。

ヒロシマで学ぶ～平和への旅

8月9〜11日、小学生5・6年生を対象に希望者80名を募り、「ヒロシマで学ぶ平和への旅」が実施されました。旅程は、原爆ドームと広島市平和記念資料館見学、被爆者の体験を聞く会、「安芸の宮島」や金刀比羅宮参拝、うどん打ち体験など。

参加した子どもたちからは「戦争は怖いと思った」「旅は楽しく、宮島はとてすてきで、住民の命と暮らしを守り、原発ゼロの社会をめざして力をつくす決意です」



市戦没者追悼式
8月15日 市民ふれあいセンター